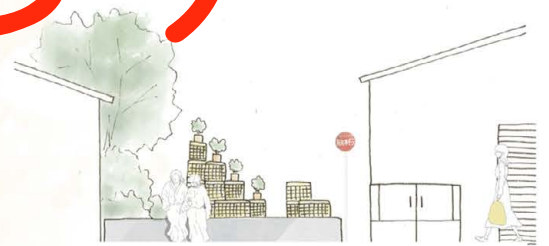
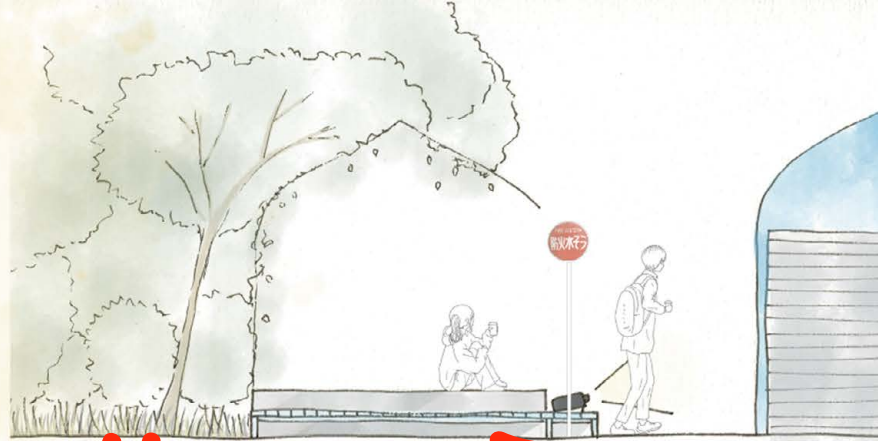


みしまに “集まれる場”を作ろう

第1回ワークショップ 『日本一と語らおう』

JIA全国学生卒業設計コンクール

2022金賞受賞 北澤 李緒

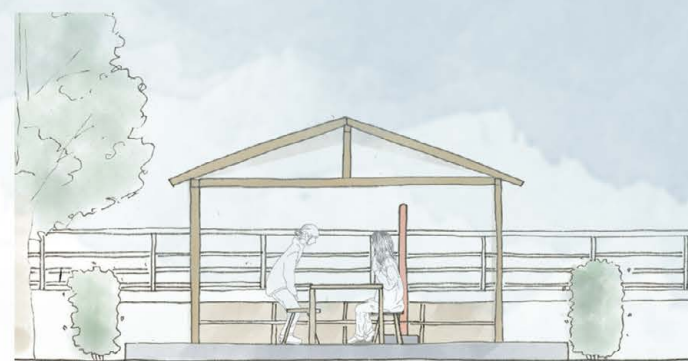
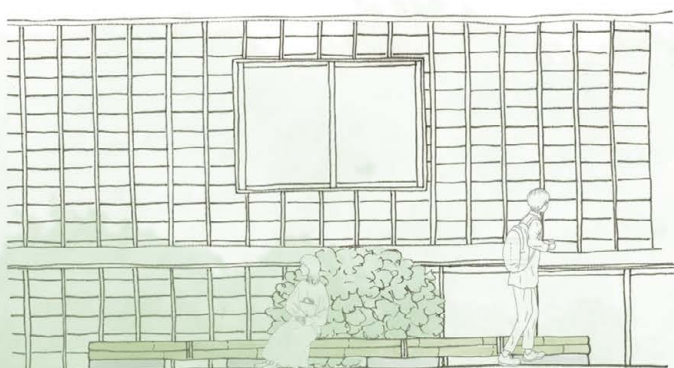


場所：三島上岩井ふれあいセンター2F

日時：1月19日(木)19:00~20:30

1月21日(土)10:00~11:30

※内容は同じなので、19日か21日のどちらか予定の合う日に
来てください。事前申し込みはありません。



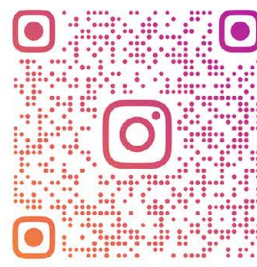
北澤李緒とワークショップ参加者で
みしまに新しく皆が集まれる場を作ろう。

集まる場のアイデア出しから

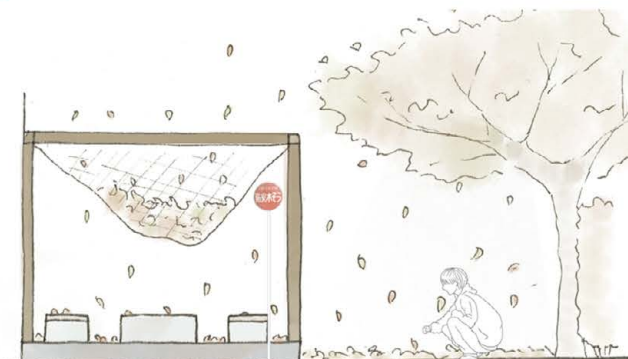
DIYまで皆でやってみよう！

主催：新潟工科大学建築・環境デザイン研究室（倉知研究室）
共催：上岩井町内会
後援：長岡市

Instagramで情報発信中…！
気軽にフォローしてください！



MISHIMA_FIRE_TANK

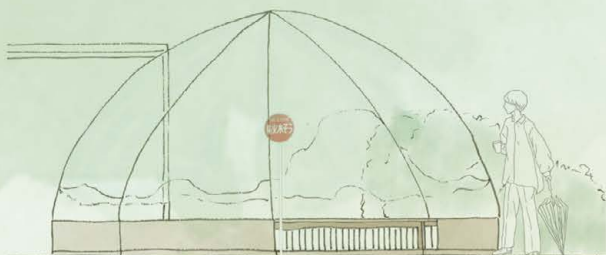
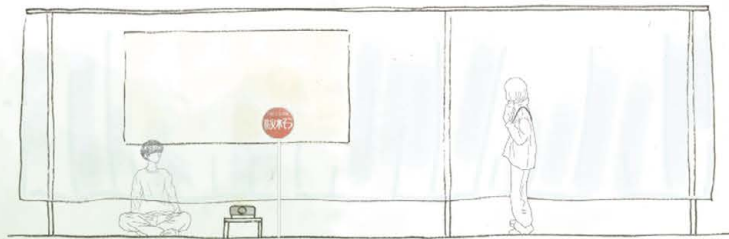




プロフィール

北澤 李緒

出身 : 三島上岩井
所属 : 新潟工科大学大学院1年生 建築・環境デザイン研究室（倉知研究室）
卒業設計 : 「防火水そうではじまる」
受賞 : 2022年2月 JIA新潟県内大学卒業設計コンクール2022 金賞
6月 JIA全国学生卒業設計コンクール 金賞



卒業設計

00 消えゆく三島

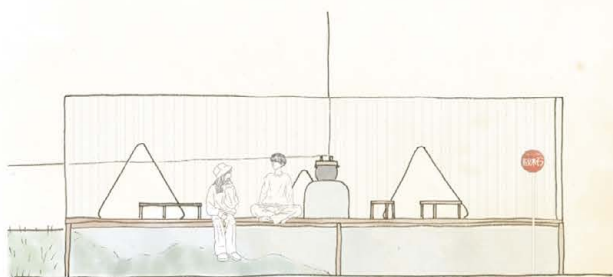
私の住む旧三島町では、住人同士の繋がりが希薄であると感じる。
人口減少により、地域ぐるみでの活動は衰退し、
現代人の生活スタイルの変化は、ご近所付き合いを億劫なものとした。
このままでは、三島はバラバラになってしまい、地域性は失われてしまうのではないだろうか。

01 コミュニケーションのはじまりの場

バラバラになってしまう三島を繋ぎ止めるためには、住人同士のコミュニケーションが必要である。
挨拶や井戸端会議のような偶発的に起こるコミュニケーションが重要であると考える。
暮らしに欠かせず、人間らしい行為である。
まちの中で活発に行われることで、住民のコミュニティは広がり、地域愛を育むことができる。
そこでこのコミュニケーションのはじまりとなる場を提案する。

02 ゲリラ的防火水そうとコミュニケーションがはじまる場

まちを歩いていると防火水そうを見つけた。そこは近くの住人がゲリラ的に
自転車小屋やバス停として利用していた。
まちに点在する小さな防火水そうの上に、偶発的コミュニケーションがはじまる場を設計する。
防火水そうとともに点在する小さなコミュニティの輪は優しくまちを包み込むだろう。



みしまに“集まれる場”をつくりたい

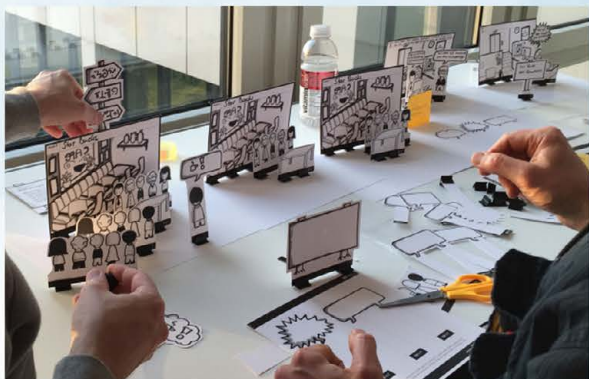
このプロジェクトは、上岩井区長の安立さんが卒業設計に共感を持ってくださったことをきっかけに、
上岩井ふれあいセンター裏の防火水そう（No.26）に“集まれる場”をつくることになりました。
みしまの人たちが**愛着**を持って、**使いたいと思えるような場**を作りたいと考えています。
そこで、ワークショップを開催します！

みしまの人にも参加してもらい、私たちと**アイデア出しからDIYまで、集まれる場を一緒につくりたい**と考えています！
ぜひ多くの人にワークショップに参加していただきたいです！



第1回ワークショップ内容

- ①日本一をとった作品「防火水そうではじまる」の紹介
- ②みしまにどんな“集まれる場”があると良いかアイデアを出そう
- ③アイデアをまとめて、作ってみよう



③では紙やペンなどを使って、
アイデアを実際につくってみます。

ワークショップの予定

- | | |
|------------------------|------------|
| ① 1月19日(木) 19:00~20:30 | 第1回ワークショップ |
| ① 1月21日(土) 10:00~11:30 | |
| ② 2月 9日(木) 19:00~20:30 | 第2回ワークショップ |
| ② 2月11日(土) 10:00~11:30 | |
| ③ 3月 9日(木) 19:00~20:30 | 第3回ワークショップ |
| ③ 3月11日(土) 10:00~11:30 | |

※木曜日と土曜日で同じ内容のワークショップを3回行います。
木曜日か土曜日のどちらかに参加してください。
事前の申し込みなどは必要ありません。